

地域の住民からの生活に関わる相談を受けとめる場の整備に向け、彦根市社協と連携し、「地域の困り事は地域で受け止める」住民主体の地域づくりを進めていくモデル地区です。

困ったこととできることをつなげる

“たすけあい 鳥居本”

—支える、支えられる「おたがいさん」のまちづくり—

鳥居本学区

普段、暮らしの中で困っていることや「ちょっとお手伝いしてほしいな」と思うことはありませんか？

鳥居本学区では、そんな声に応えようとお隣さんやご近所さんとの身近なつながりを大切にしながら、暮らしのちょっとした困りごとを「ちょっと来て」と言い、お手伝いする生活支援の取組が始まります。



例えば電球を替えてほしい、庭の草をむしってほしい、高い所にあるものを下におろしてほしいなど普段の生活のなかでの身近な困りごとを自分たちで解決するための仕組みづくり。

住民の“オモイ”が“カタチ”になり、支え合い・助け合いの意識を広げていこうというお手伝いの活動が鳥居本から始まります！！

稲枝北学区

送迎支援者養成講座“ボランティア運転研修” 報告

稲枝北学区安全・安心まちづくり協議会が今秋から立ち上げる「送迎支援サービス」に先立ち、9月6日、稲枝地区公民館で研修会が行われました。講師に関西STS連絡会の柿久保浩次さんをお迎えし、関係法令や安全な運行に必要な基礎知識、心構え等についての講義を受けた後、乗降、運転実技に送迎支援ボランティア12人が取り組まれました。

参加者からは「家族を乗せているのとは全く違って、とても緊張しました！」「ドアが不意に閉まらないよう手で押さえておく、シートベルトがきちんと装着されているか確認するなど、いろいろな気配りが必要だと知って大変勉強になりました」などの感想が寄せられました。

